

facebookの活用による消費者への情報電波の伝播（イメージ）

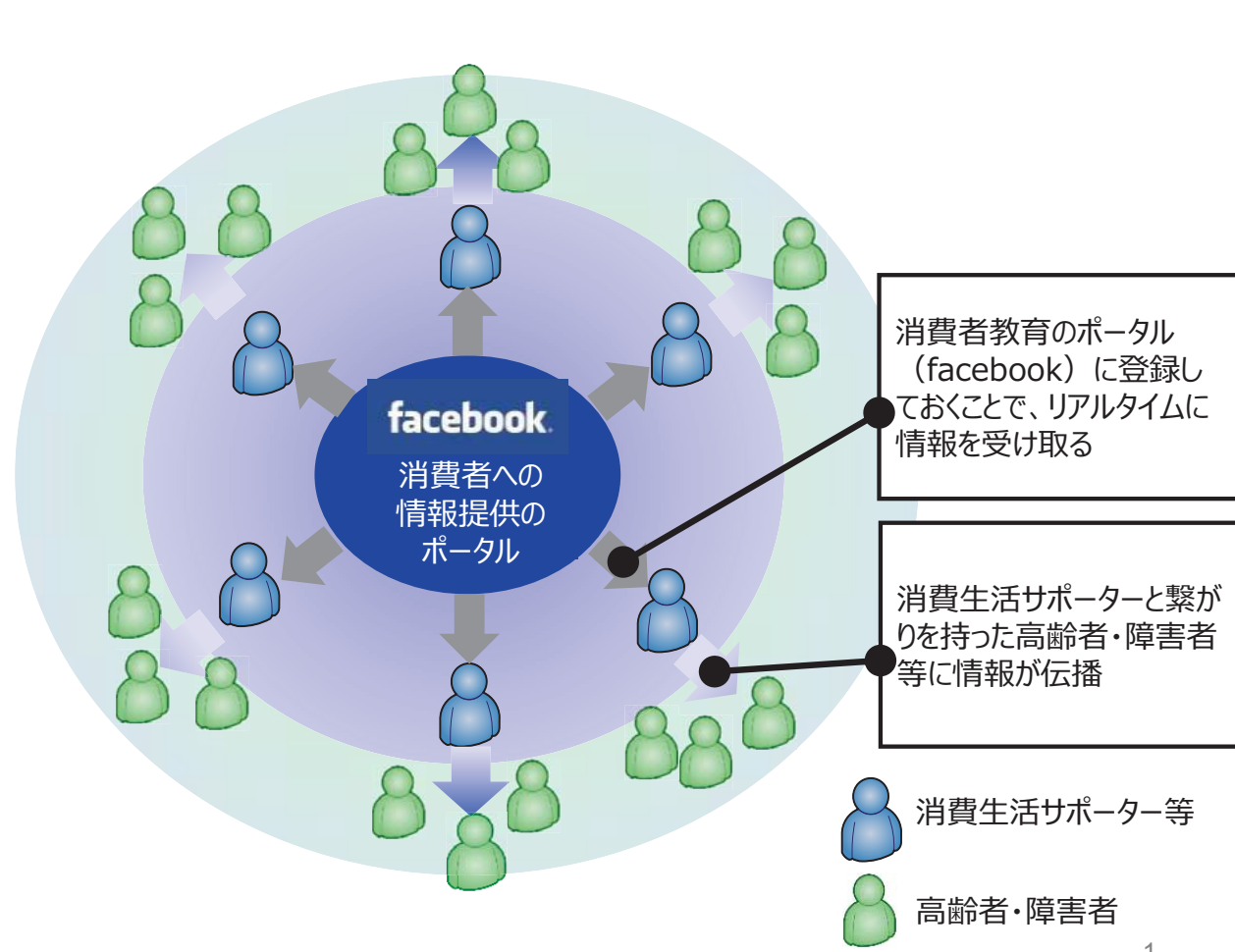
- ❑ 現在、公共の分野でもfacebookを始めとするソーシャルメディアネットワークの利用が進み、行政サービスの向上に寄与している。
- ❑ Facebookの仕組みを消費者への情報提供にも活用し、コミュニティの中で高齢者・障害者との繋がりを持ちやすい消費生活サポーター等に情報を配信することで、加速度的に情報が伝播すると考えられます。

公共分野におけるfacebook利用（例）

- ✓ 武雄市では、2011年8月に、ホームページをfacebookに完全移行し、イベントや生活に関する情報を発信
- ✓ あらかじめ登録しておけば、市が発信する情報をリアルタイムに受け取ることが可能

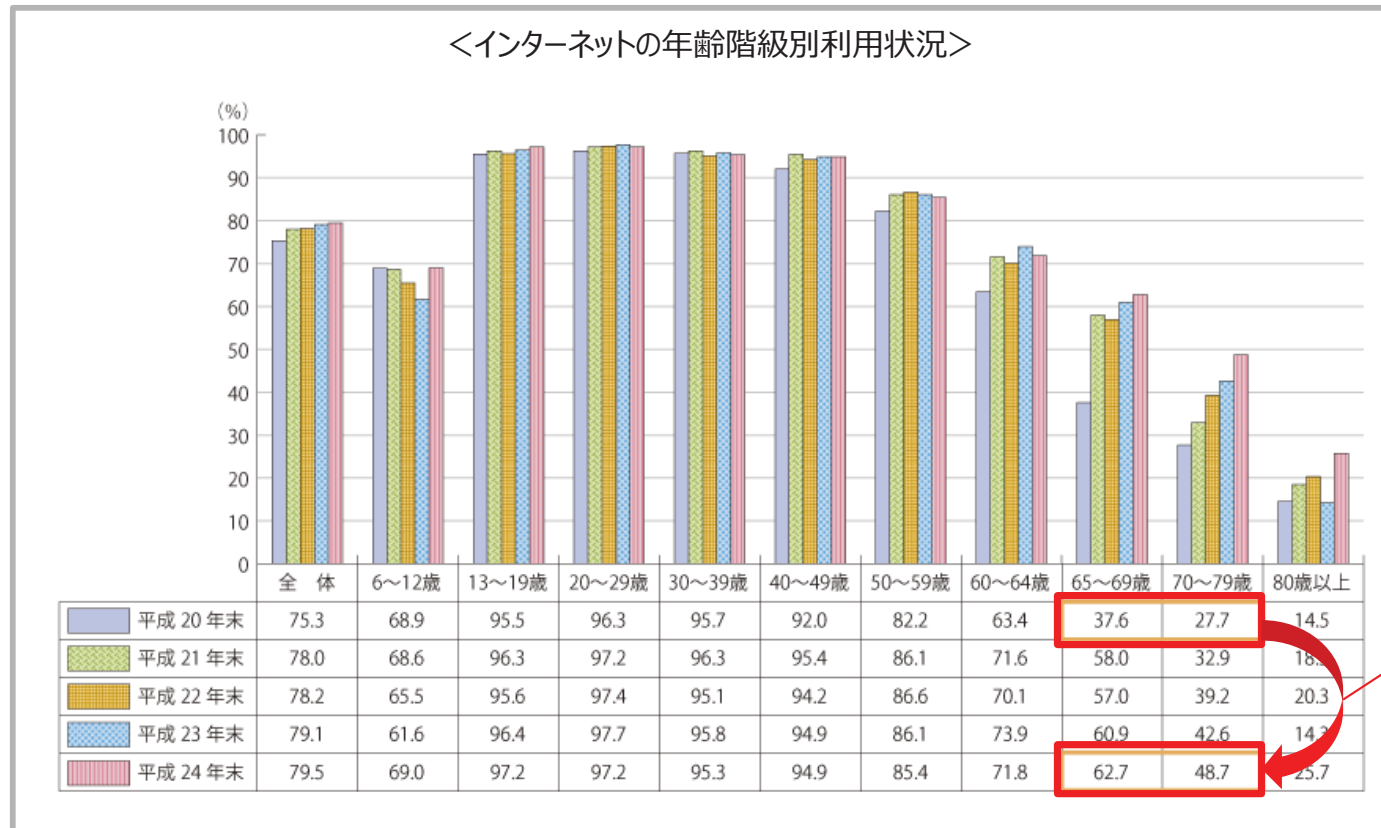
- ✓ 5万件/月だったホームページの閲覧数がおよそ**60倍**の3,000万件/月に増加
- ✓ 5万人いる市民のうち、**40%**である約2万人が市のfacebookに参加
(facebook以外の口コミも考慮するとほとんどの市民に情報が伝播していると考えられる。)
- ✓ 市民の側では、**行政を身近に感じられるようになった**という声が多数

facebookの活用による消費者への情報電波の伝播（イメージ）



(参考①) 日本における、高齢者のインターネット利用者割合の増加

- 日本におけるインターネットの年齢階級別利用状況は、平成24年末時点で65～69歳が60%以上、70～79歳が40%以上となっている。
- 平成20年末と比較すると、65～69歳は25%超、70～79歳は20%程度利用率が上昇しており、他の年齢階級と比較して、高齢者のインターネット利用者割合の増加が際立つ結果となっている。



65～69歳は25%超
70～79歳は20%程度
利用率が上昇

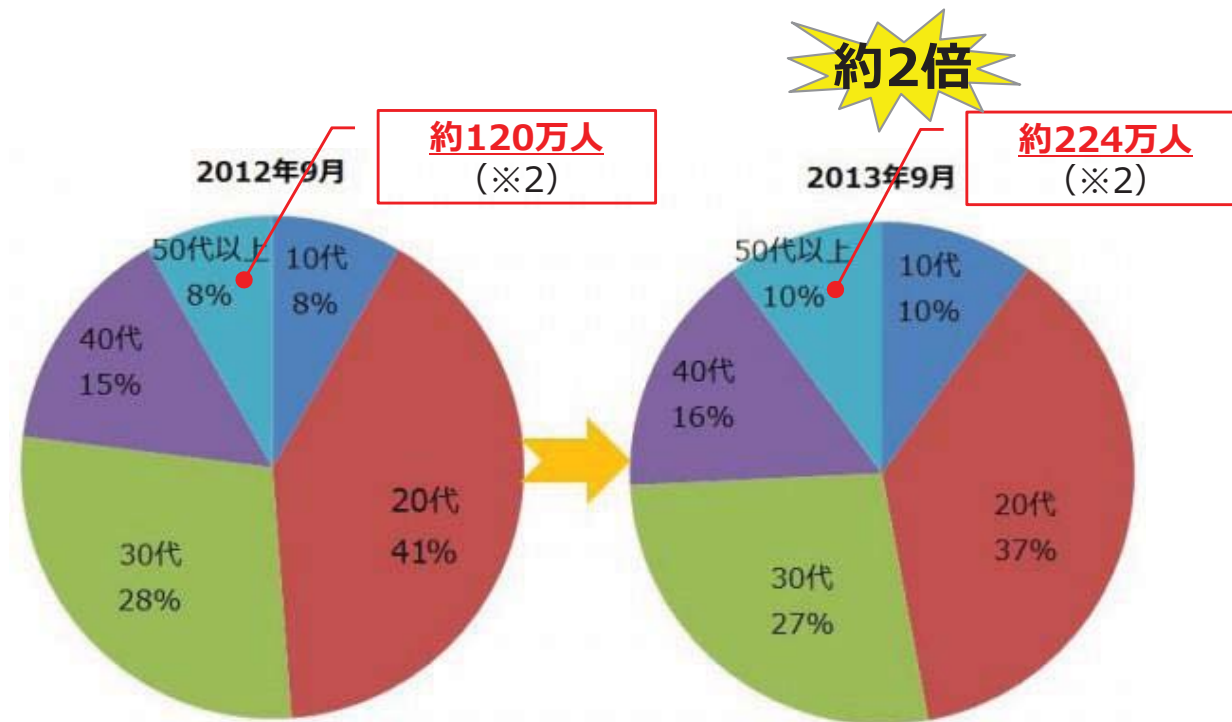
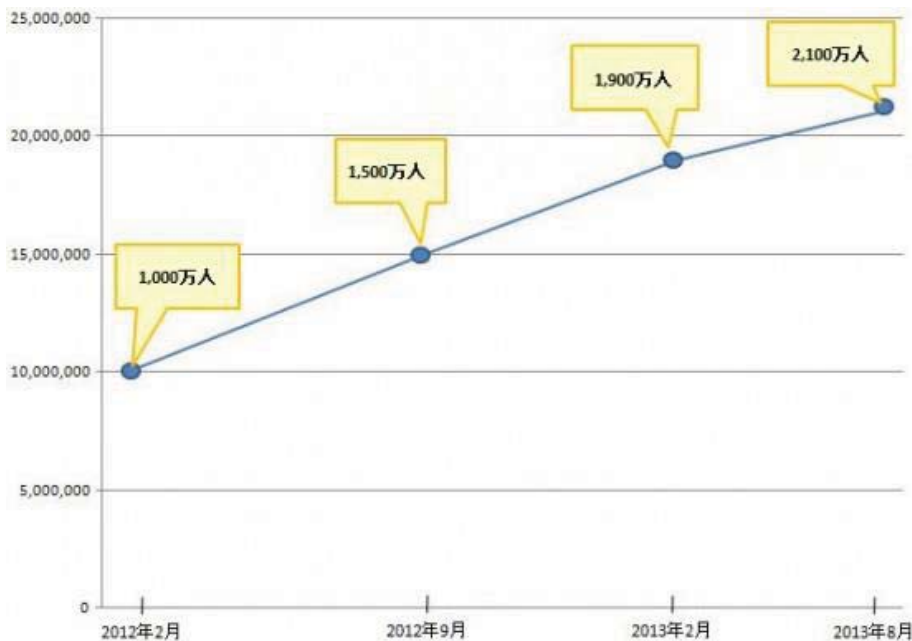
出典：平成25年版 情報通信白書

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/html/nc123220.html>

(参考②) 日本における、50代以上のfacebookユーザー数の増加

- facebookが公表している月間アクティブユーザー（※1）の推移によると、日本国内のfacebookユーザー数は、2013年6月に2,100万人を突破した。
- 日本におけるFacebookユーザーの年齢別の構成比を比較すると、従来ユーザー層が少ないと言われてきた「10代」並びに「50代以上」の割合が増加しており、50代以上では、ユーザー数が1年間で2倍近く増加している。

Facebookが公表している月間アクティブユーザーの推移



※1 登録ユーザーのなかで、サービスを継続的に利用している（例えばログイン）ユーザー

※2 以下の出典資料に記載されたデータを踏まえ、ユーザー数を算出

出典：株式会社メンバーズ エンゲージメント・ラボ <http://blog.members.co.jp/article/9454>